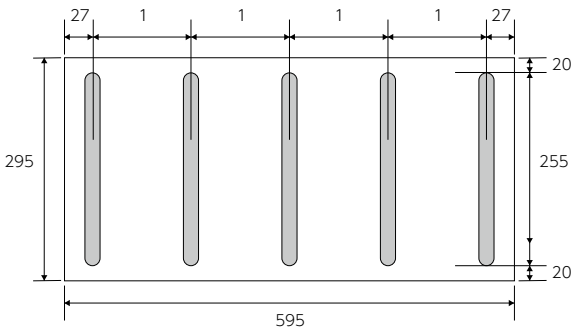
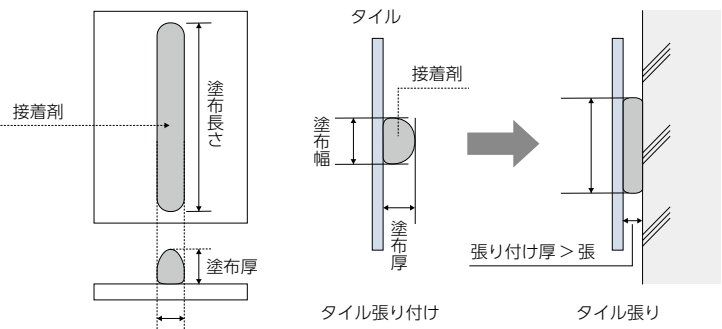


◎線状塗布工法



- 接着剤の塗布方向は、タイル張り付け後に鉛直方向となる方向とする。
- 接着剤はタイル裏面に偏りなくほぼ均等になるように塗布する。タイル1枚あたりに塗布する接着剤の本数は、タイルの大きさによるが、特記なき場合、塗布する線の間隔は150mm程度以下を標準とする。
- 塗布長さ、塗布幅、塗布厚は特記によるが、タイルの大きさや張り代により設定する。
- 塗布長さ：塗布方向のタイルの両端部からそれぞれ20mm程度差し引いた長さとする。
- 塗布幅及び塗布厚:塗布厚は張り代より高くし、タイル張り付け後に接着剤の広がり幅が20mm程度になる塗布幅と塗布厚とする。

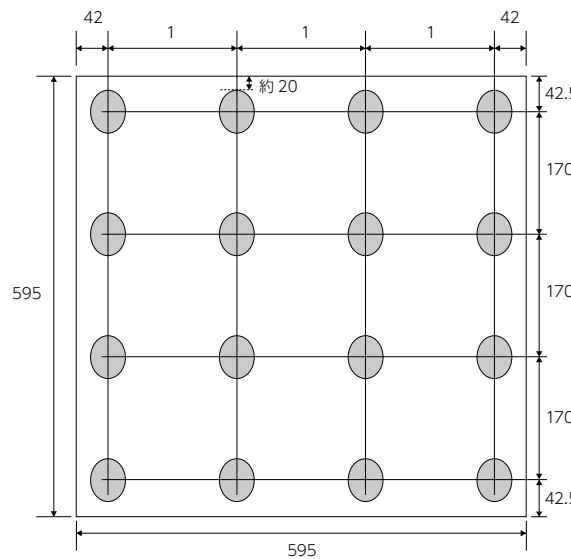


- 塗布幅と塗布厚は張り代に応じて大きくするが、張り代は下地の精度によって変化するため、下地に過度な凹凸がないかも事前に確認しなければならない。
- 接着剤の塗布は専用工具やシーリングガンを用いて吐出し口の直径により接着剤の塗布幅や塗布厚を調整することができる。ただし接着剤を押し出す力や塗布する際のシーリングガンなどの移動スピードにより塗布幅や塗布厚が変化する。接着剤の塗布幅や塗布厚にムラが生じた場合でも、最低の塗布幅と塗布厚が設定した値を満たすようにする。

広がり幅が20mm程度となる目安の塗布幅と塗布厚

張り代	塗布幅	塗布厚
3 mm	9 mm以上	9 mm以上
5 mm	11.5 mm以上	11.5 mm以上
7 mm	13.5 mm以上	13.5 mm以上

◎点状塗布工法



- 接着剤はタイル裏面に偏りなくほぼ均等になるように塗布する。タイル1枚あたりに塗布する接着剤の本数は、タイルの大きさによるが、特記なき場合、塗布する点の間隔は200mm程度以下を標準とする。
- 塗布直径および塗布厚は、張り代に応じて設定する。特記のない場合タイル張り付け後に接着剤の広がり幅が60mm程度になるよう塗布直径と塗布厚とし、塗布厚は張り代の2倍程度の高さとする。